

家族共有の「終活ノート」

三菱UFJ信託銀行は9月にも、死後の手続きや財産の内容を記す「エンディングノート」を家族と共有できるスマートフォン向けアプリの提供を始める。

預貯金や有価証券のある金融機関名、保有不動産や葬儀の希望、財産分与の方針などを入力し、ネット上で保存しておける。利用者が死亡した場合や、生前でも同意した場合に、アプリを通じて家族と情報を共有する。

一般的な遺言書にはならないが、三菱UFJ信託はア

三菱UFJ信託がアプリ

プリを通じて遺言書の必要性を知つてもらうことで、遺言信託など自社商品の販売拡大につなげたい考えだ。アプリには日々の歩数や食事の内容といった健康状態に関する情報を記録することもでき、家族が離れた場所からでもチェックできる。写真やメッセージをやりとりする機能もある。

まずは口座保有者に向けてアプリを提供するが、2021年度以降にはグループの三菱UFJ銀行の顧客や一般向けにサービスを拡大することも検討する。